

# 「農商工連携セミナー・地域交流会 in 恵庭」

農林水産業の生産者と商工業者が互いの技術やノウハウを持ち寄り進める「農商工連携」、生産者が加工・販売やサービス業にまで展開する「6次産業化」など、地場産品を活かした地域の元気づくりを応援します。

日時・場所

令和2年1月30日(木) 13:30~16:00

恵庭市 恵庭市民会館・中ホール (恵庭市新町10番地)

## 第1部 セミナー 13:30~15:15

- 1 講演 「バイヤー目線の売れる商品の開発と販路拡大戦略 -『きたキッチン』の現場から -」  
講師 株式会社 北海道百科 常務取締役 勝浦 忠 氏

平成2年(1990年)株式会社丸井今井(現(株)札幌丸井三越)に入社。平成18年、道産品バイヤーとなる。平成19年、道産食品セレクトショップ『きたキッチン』立ち上げに参画。食品商品課長等を経て、現職に出向中。北海道「食のサポーター」。マーケティング、商品企画・開発の他、農商工連携にも造詣が深い。北海道百科は、本州地区での「どさんこプラザ」(有楽町店はじめ全6ヶ店)の運営を担っている。



## 2 事例発表

### (1)「地域フード塾」を受講しての取組事例発表

事例発表者 有限会社大塚農場 営業・加工部 主任 大塚 詩穂 氏

(平成30年度地域フード塾修了生)

平成19年、十勝管内・士幌町食品加工研修センターに入社。技術指導員として製造体験研修等の指導を行う。平成22年、有限会社大塚農場(当別町)に入社。営業・加工部で農産物の販売・加工などを担当。大塚農場は米、人参、トマト等の特別栽培農産物を生産しており、自社ブランドの加工品「すなお」(トマトソース、人参ソース)を販売している。特に黒大豆は、札幌市内の菓子メーカーと特別栽培契約し、定番の菓子原料に使用される等高い評価を得ている。



### (2) 恵庭市内での取組事例発表

事例発表者 一般社団法人M.P.C ジャパン 代表理事 朱田 年秀 氏

昭和58年(1983年)陸上自衛隊に入隊、救護隊員として勤務。任官後は医務室運営、駐屯地カウンセラーを経て、平成29年に起業してメンタルサポートサロン開設に合わせ、恵庭に『Cafe & Dining Bar Lin』をオープン。同年、恵庭市農商工等連携推進ネットワークに入会し、北海道文教大学と連携した「えにわんバーガー」を始めとした恵庭産品を使用した連携メニューを多数開発。恵庭を代表する飲食店として情報誌「HO」や「じゃらん」等に数多く掲載されている。



## 第2部 地域交流会 15:25~16:00

### ○ 試食交流会

講演・事例発表の後、地域の新品等を試食頂き、アンケート集約し皆さんからの意見を頂きます。また、永年、道産品のバイヤーとしての経験を積まれた講師・勝浦氏から品評・意見を頂く予定です。

主催：北海道石狩振興局、恵庭市、恵庭市農商工等連携推進ネットワーク

協力：恵庭商工会議所、道央農業協同組合、E-ZO(北海道フード塾修了生有志の会)